

寝屋川西地域活動委員会



NEWS vol. 9

2026. 9

戦時中の動物園で何が起こったのか!?

天王寺動物園で 7/18~8/30に行われていた企画展
「戦時中の動物園」にパル委員さん、小学生~高校生の
子供たちと一緒に来て来ました。



写真提供：天王寺動物園

戦闘で檻が壊され脱走しない様にと、猛獣たちは飼育員の手で毒殺されたり、餓死させられました。また、軍服を着て武器を持たされたチンパンジーが国民を戦争へと駆り立てる為に軍事利用されました。



人の心を和ませる動物達が
身勝手な理由で命を奪われました。

戦争は人の心を鬼にし
守るべきはずの大切な命を奪う。
動物達の苦しみが癒されますように
もう二度と過ちを犯さぬようにと祈りました。



戦争では犬が「軍犬」として警備や
武器の運搬などに使われていた事を
初めて知りました。



参加者の感想

〈大人〉

- ・ 原爆投下された国として平和の尊さを子供たちに伝えていく大切さを改めて思いました。
- ・ 動物園と戦争に結びつきがあったことを初めて知った。
- ・ ヒョウだけが毒入りとわかっていただけ、毒入りのエサを食べることはなく、その後、飼育員の手で絞殺させられたのがとても印象に残りました。
- ・ 軍事利用された動物がいることを初めて知りました。

〈子供〉

- ・ 戦争の動物たちの動画を見て可哀想やった。
- ・ 写真展を見て、実習生の作った紙を見て象が戦争の土台にされて可哀想やった。
- ・ 戦争は無い世界がいい。命は大事やと思った。



戦後80年以上が経ち、当時を知る方達も少なくなってきましたが、戦時中なにが起こったのかを伝える事の大切さをあらためて考える機会となりました。
各ご家庭でもぜひ、話し合ってみてください。

お問合わせ先は裏面をご覧ください。